## 沖縄県勤務の薬剤師からの近況報告

琉球大学病院 薬剤部長 中村 克徳(37 期 1994 年卒業)

松田先生から昨年原稿依頼を受けていたのですが、なかなか筆が進まず申しわけございません。松田先生からの芳香執筆依頼督促のメールでも指摘されていましたが、メールをいただいた2023年7月6日時点では、沖縄県の SARS-CoV2 (以下新型コロナ)の感染者が急増しています。これは、2023年5月8日に新型コロナ感染症が5類へ移行してから県外・国外からの観光客増加や沖縄県民の社会活動が活発になったほか、感染力の強い変異株が主流になったことが背景にあるとみられています。沖縄県での新型コロナ感染症の状況が日々刻々と変わっていきますので、今日の時点の感想を書きたいと思います。立場上あまり過激なことは書けず、短いエッセイで恐縮です。

沖縄県は、新型コロナ感染症が常に他県より も早く流行してきた経緯があります。例えば、新 型コロナウイルスの集団感染が発生した大型ク ルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」は、横浜港 での乗客乗員船内待機が要請される前、那覇 港での滞在中に乗員乗客約 3700 人のほとんど が船から降りて、那覇市近郊で自由行動してい たようです。那覇に着く前の停泊地香港で降りた 男性が新型コロナウイルスに感染していたことも 明らかになっていて、沖縄県民には不安が広が りました。現在と比較して当時は新型コロナウイ ルスの情報がほとんど無く、薬剤部長室が感染 疑い患者さんの搬送動線上にあったので、何か と不安だった記憶があります。沖縄県は、観光 産業がほとんどすべての産業に繋がる重要なり ーディング産業であることから、感染リスクのある 県外・国外からの観光客を制限することはかなり 勇気のいる決断になります。このため、どうしても 新型コロナ感染症の流行についてはブレーキ (感染対策)とアクセル(観光促進)を両方踏ん

「医療崩壊している」 沖縄でコロナ感染止まらず 那覇市の開業 医が悲痛な訴え

7/6(木) 6:33 配信 🗯 250 😏 😏 😭





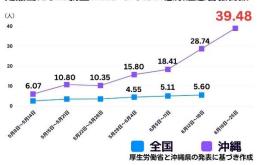
思者が列をなす発熱外来。車で待機 する人の姿も=5日午前9時45分、沖 縄・那覇市の曙クリニック(画像の 一部を加工しています)

新型コロナウイルスの5類感染症移行後、全国で初めて 大きな流行に直面している沖縄。沖縄県による全体的な入 院調整がなくなった今、急増する発熱者対応に第一線で対 応する地域のクリニックにしわ寄せが直撃している。現場 からは「7~8軒の病院に当たっても、患者の入院先が探 せない。命を削るような調整が続いており、医療逼迫(ひっぱく)というより崩壊している」との訴えが出る。(デ ジタル編集部・被原知恵)

【グラフ】1定点あたり全国の約6倍…沖縄のコロナ感染 推移

でいるような状況が起こりやすいように思います。 このような環境で、特例承認によりモルヌピラビ ルなど抗ウイルス薬がコロナ治療薬として登場し ました。希望の光のようにも思えます。ただ、これ らの特例承認されたコロナ治療薬は、松田先生 も以前芳香 SCIENCE 71-5 (2022)で注意喚起 されていたように医療現場では使いにくい現状 があります。数量も限界がありそうなので、必要と している患者さんに適切に使っていくことが重要 だと思います。私が勤務している琉球大学病院 には、がん化学療法で免疫が低下している患者 さんや慢性閉塞性肺疾患、2型糖尿病、高血圧 などを治療中のリスクの高い患者さん、さらには 新型コロナ治療薬と CYP3A4 を介した薬物間 相互作用のある免疫抑制剤を必要とする臓器 移植後の患者さんも入院や通院をしています。 病院では、リスクの高い患者さんへの院内での 感染を最小限にするため、5類へ移行してからも 病院の入り口ではマスク着用やアルコールでの 手指消毒をお願いしています。マスク着用やア ルコール消毒の必要性についての意見も人そ れぞれ違うと思います。マスクをなかなかしてくだ さらない方もたまにいますが、病院として患者さ んのリスクを最小限にするためご理解をお願いし ています。沖縄県の医療従事者は絶望的に不

## 定点当たりの新型コロナウイルス感染症患者報告数



足している実感がありますが、なぜか統計上の数値には現れにくいようです。薬剤部長としては、沖縄県民の命を守るために、現在与えられた医療人材と医療資源の許す範囲内で最大限の効果を出す最善の運用方法を常に考えていくしかありません。つい、「もっと安全で有効な治療薬があればいいのに・・」とか「もっと薬剤師がいれば良いのに・・」とか思ってしまいますが、愚痴を言ったところで医薬品の備蓄や薬剤師が増えるわけでもないので、限られた条件の中でも出来る策を練るのが重要なのかもしれません。もちろん、中長期的には沖縄県に薬学部を作るなど技本的な薬剤師増加策を実施することも必要だと思います。沖縄県への薬学部設置に向けて、

同窓生の皆様の御支援、何卒よろしくお願い申 し上げます。

最後に、今日の時点で大切なのは、新型コロナウイルス感染症などに負けず、沖縄県に来てくださる観光客の皆様に沖縄を充分満喫してもらいつつ沖縄県民の大切な暮らしをしっかり維持し、おそらく世界中で最も優れている万人に平等な日本の医療システムをしっかり守っていくことではないかと思っています。同窓生の皆様、新型コロナウイルス感染症の状況が一段落しましたら是非沖縄観光にいらしてください。お待ちしております。

## 参考資料

https://news.yahoo.co.jp/articles/81c6d1dbc7e40e5b236a31b6397cfc64e49fce8d

https://www.okinawatimes.co.jp/articles/gallery/1178402?yahoo=y&utm\_source=yahoo&utm\_m\_edium=http&utm\_campaign=link\_back&utm\_content=related

同窓会 HP:2023 年 7 月 11 日公開